

平成30年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区　名	生野区
学 校 名	大阪市立勝山小学校
学校長名	堀端和彦

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成30年4月17日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、児童の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数）

- ・主として「知識」に関する問題（A問題）
- ・主として「活用」に関する問題（B問題）

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・勝山小学校では、第6学年 31名

平成30年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語 A は全市 + 7 ポイント、全国 + 2.3 ポイント。国語 B は全市 + 4 ポイント、全国 + 0.3 ポイント。算数 A は全市 + 7 ポイント、全国 + 5.5 ポイント。算数 B は全市 + 8 ポイント、全国 + 5.5 ポイント。理科は全市 + 9 ポイント、全国 + 3.7 ポイントで、すべての調査において、全市並びに全国の平均を上回っている。また、平均無回答率においても、非常に低い数値であり、真面目に取り組んでいる様子がうかがえる。

児童質問紙調査でも質問11「家で学校の宿題をしていますか」に対して、「している」が100%の回答で、これが結果として上記の成績を残せたのではないかと推察する。しかしながら、次の質問12「家で、学校の授業の予習、復習をしていますか」の肯定的回答が非常に低く、これを上げていくことが今後の課題であると考える。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

今回、すべての調査で国および全市平均を上回ることができたが、国語 B については、その差が0.3ポイントと小さい。国語 A ならびに B の問題において本校の弱点を検討したところ、いずれの問題においても、条件が付加されたちょっと複雑なものになると正解率は下がり、無回答率が上がる。無回答率も総じて低いが、苦手なタイプの問題では大きくなる傾向がある。

算数では A、B ともに全市より 7 ~ 8 ポイント高く、全国より 5.5 ポイント高い。算数については、それなりに高い力を持っていると考えられるが、百分率を求めるというさほど難しいとは思えない問題で、正答率が低いという現象もみられた。難しい問題に粘り強く取り組む力が少し弱いように見受けられるが、総じて必要な学力は身についていると推察される。

理科でも基礎的な力は十分にあるようだが、各教科に渡って、文章を読み込んで、あるいは情報を集めて、比較・分析するのが苦手なようだ。読解力ならびに論理的思考力を持つ必要があると思われる。また、比較・分析したものまとめの力を必要とする。

質問紙調査より

(4) の「学校の決まりを守っていますか」では肯定的回答が93.6ポイントで、非常に高く、規律が守られている点が学力向上の上でも重要であると考える。(5) の「いじめはどんな理由があつてもいけないことだと思いますか」では肯定的回答が100%で、一学級編成の人間関係が固定化しやすい学級の中でよい傾向であると考える。(7) の「朝食を毎日食べていますか」も肯定的回答が100%で基本的生活習慣もきちんとできていると考えられる。家庭、地域の支援がしっかりとしていると考えられる。一方で(15) の「一日あたりどれくらいの時間、読書をしますか」では長時間読む子もいるけど、「全く読まない」児童は全国と比べて10ポイント程度高い。読書量を増やす工夫をしていく必要がある。(28) 「算数の勉強は大切だと思いますか」では肯定的回答が100%なのに、(39) 「理科の勉強は大切だと思いますか」では70ポイント程度とかなり低い。理科の楽しさ、良さを伝えていく工夫をしていくたい。

今後の取組(アクションプラン)

調査結果としては、すべての調査で全国平均を上回ることができているが、これを継続的に、また、さらに上げていく努力を続ける必要がある。そのためには上に述べた成果と課題を真摯に受け止め、条件のついた複雑な問題に対する力を持つ必要があり、そのためには問題を読み込みそれを分析して、論理的に考えて結論を導き出す一連の流れがスムーズにできるように力をつける必要がある。はじめの「読み込み」の中で重要なのが読解力である。まずこれを身につけさせる必要がある。その上で、比較、分析、統合するための論理的思考力によって、問題の解決を図ることになる。論理的思考力については、新しい学習指導要領で加えられたプログラミング学習や理科の実験・観察がその役を果たすものと考えられる。その点でも児童質問紙において理科の大切さが認識できていない児童が多いところが気になる。

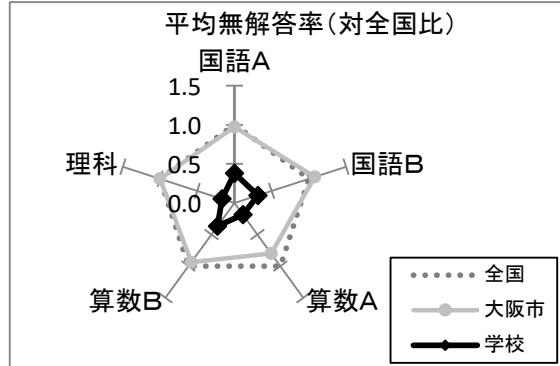
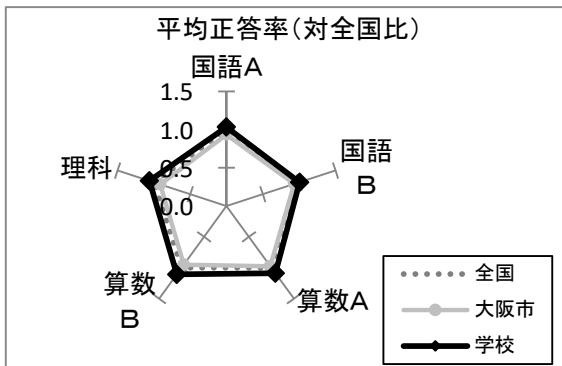
【 全体の概要 】

平均正答率 (%)

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
学校	73	55	69	57	64
大阪市	66	51	62	49	55
全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3

平均無解答率 (%)

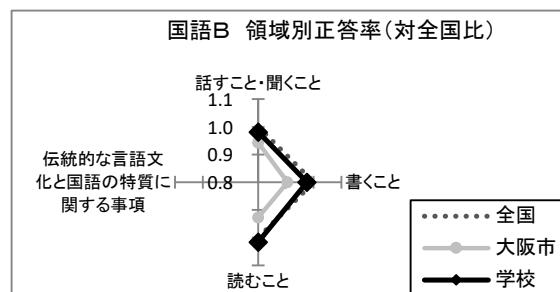
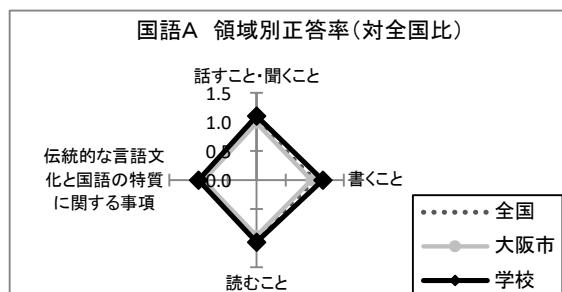
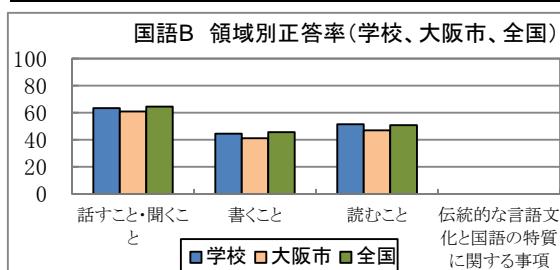
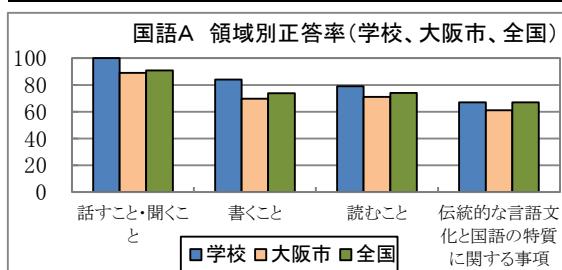
	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
学校	1.3	1.2	0.5	2.9	0.2
大阪市	3.4	4.1	2.0	7.4	1.2
全国	3.5	3.8	2.5	7.9	1.2



【 国 語 】

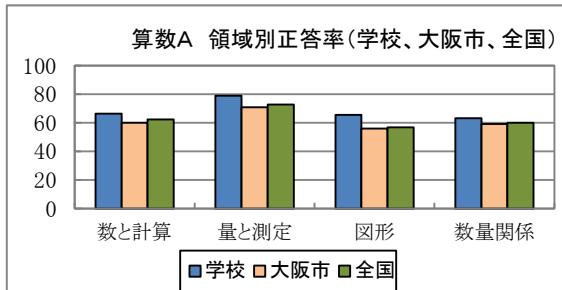
A 問 題	対象設問数(問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	100.0	88.9	90.8
	書くこと	1	83.9	69.6	73.8
	読むこと	2	79.0	71.0	74.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	8	66.9	61.1	67.0

B 問 題	対象設問数(問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	63.4	60.9	64.6
	書くこと	5	44.5	41.3	45.6
	読むこと	2	51.6	47.1	50.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	0	—	—	—

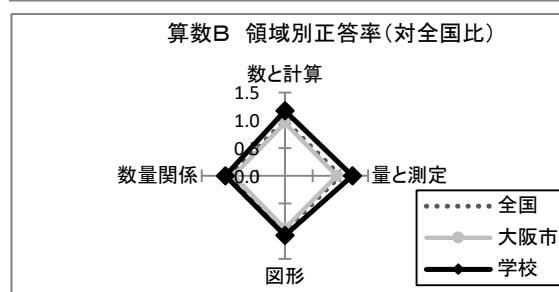
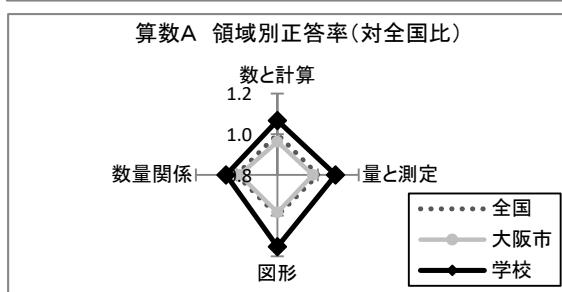
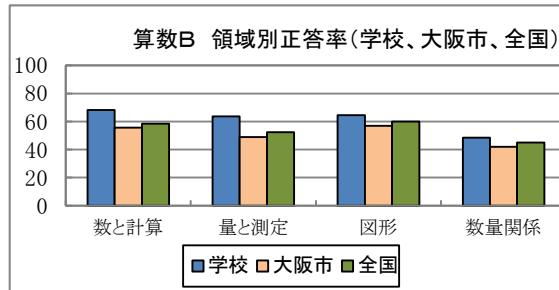


【 算 数 】

A 問 題	対象設問数(問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	数と計算	5	66.5	60.0	62.3
	量と測定	4	79.0	70.9	72.7
	図形	3	65.6	56.0	56.9
	数量関係	5	63.2	59.2	60.1

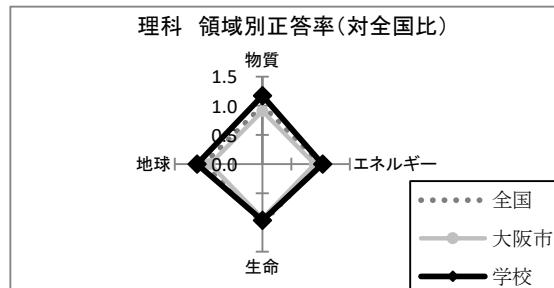
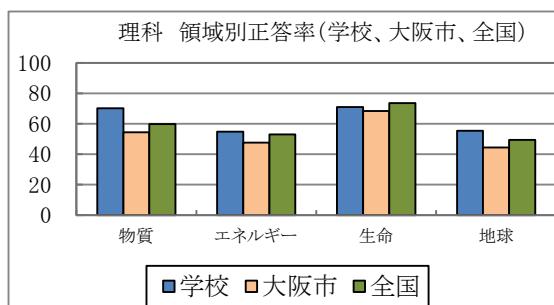


B 問 題	対象設問数(問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	数と計算	6	68.3	55.6	58.4
	量と測定	4	63.7	49.0	52.4
	図形	2	64.5	57.0	59.9
	数量関係	5	48.4	41.9	45.1



【 理 科 】

学習指導要領の領域等	対象設問数(問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
A区分	物質	4	70.2	54.4	59.8
	エネルギー	4	54.8	47.7	53.1
B区分	生命	4	71.0	68.4	73.6
	地球	6	55.4	44.4	49.5



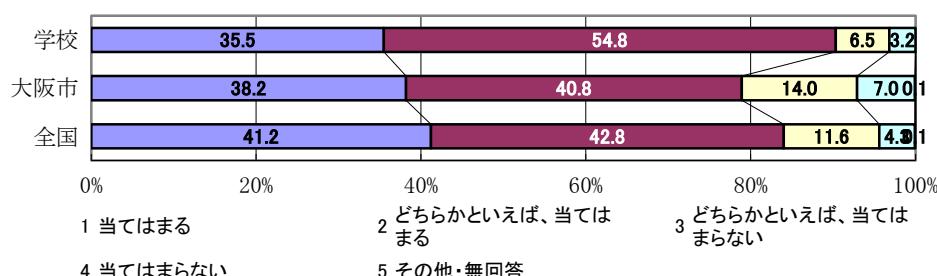
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

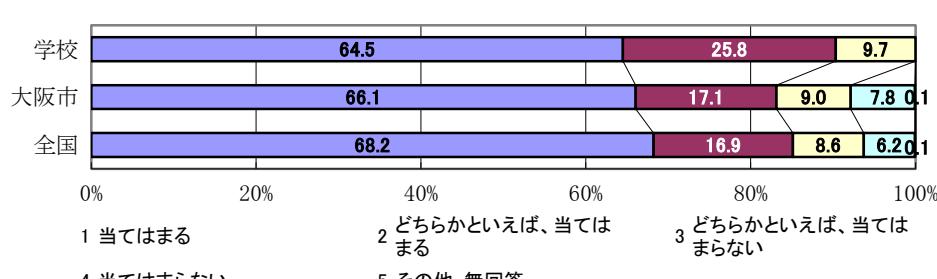
1

自分には、よいところがある
と思いますか



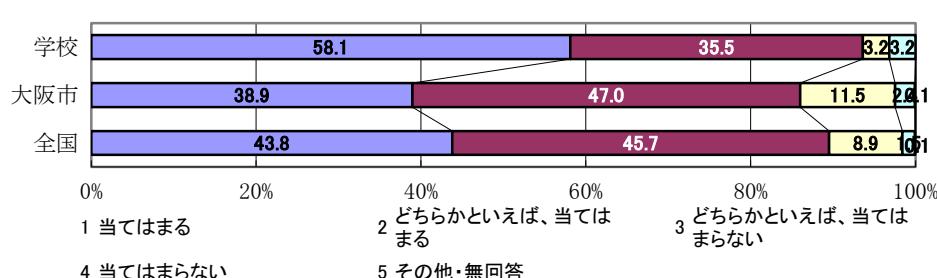
3

将来の夢や目標を持って
いますか



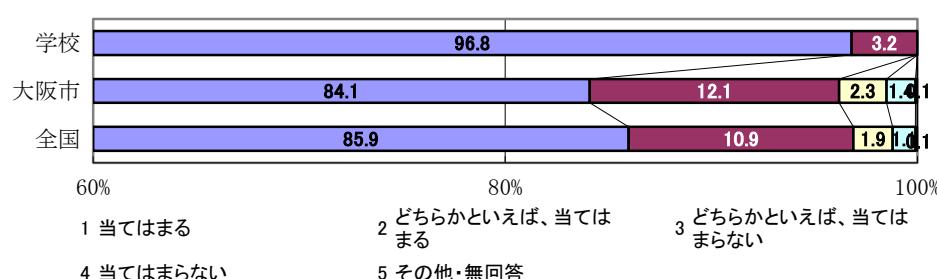
4

学校のきまりを守っていますか



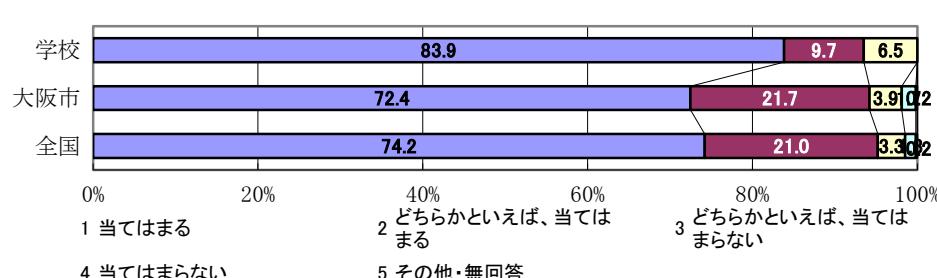
5

いじめは、どんな理由が
あってもいけないことだと思いますか



6

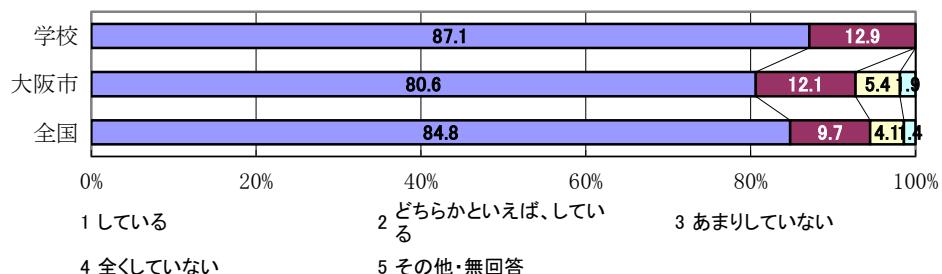
人の役に立つ人間になりたいと思いますか



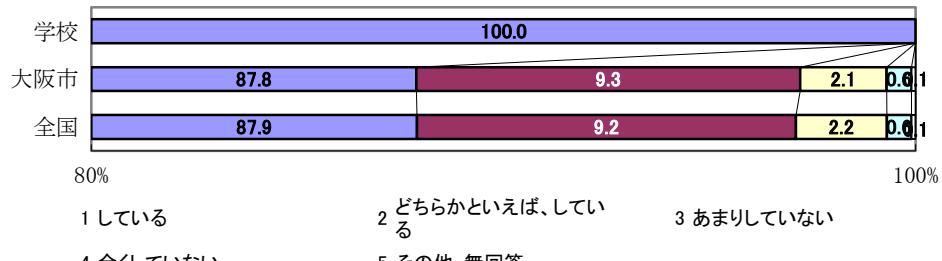
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

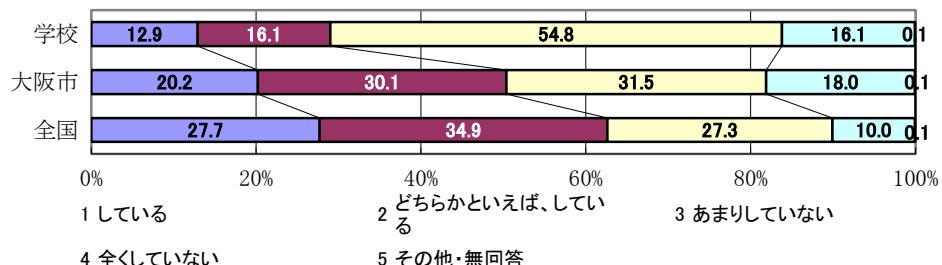
質問番号
質問事項
7
朝食を毎日食べていますか



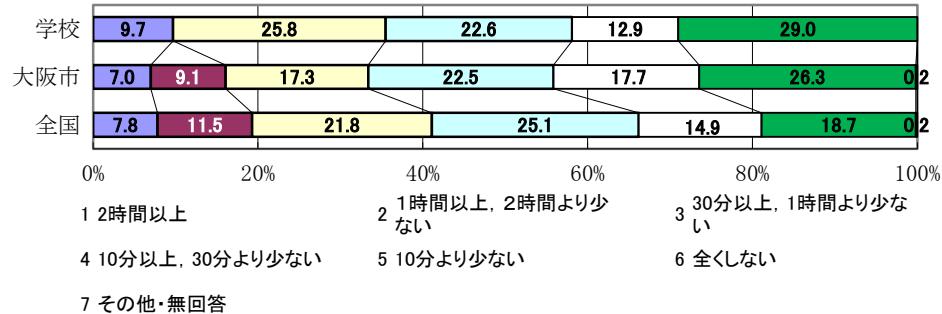
11
家で、学校の宿題をしていますか



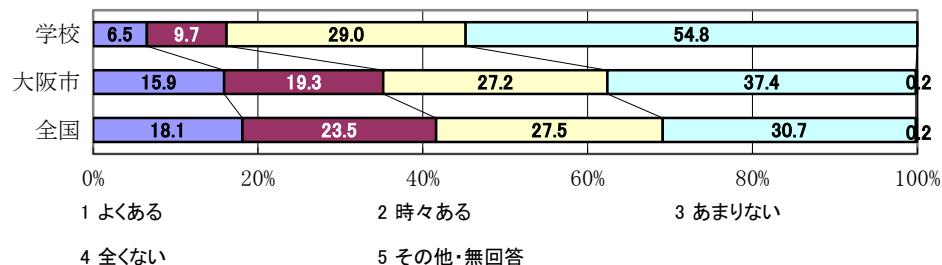
12
家で、学校の授業の予習・復習をしていますか



15
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)



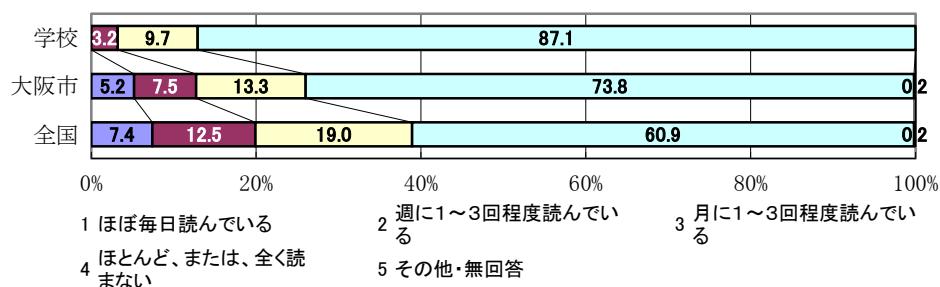
24
地域の大人(学校や塾・習い事の先生を除く)に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか



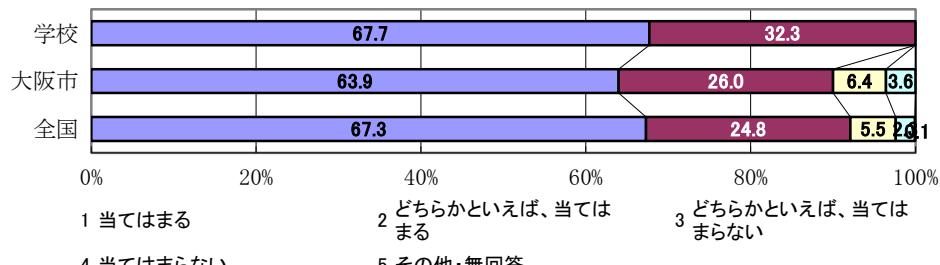
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

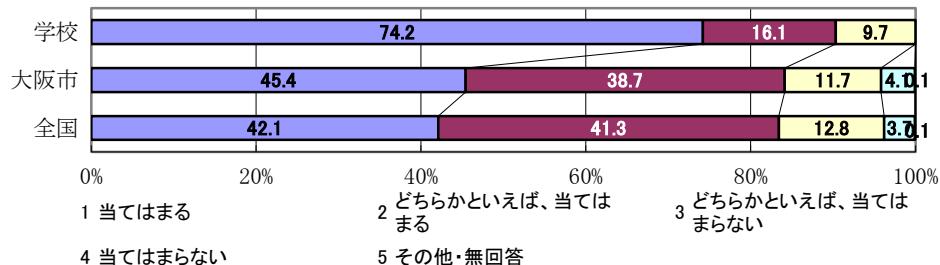
質問番号
質問事項
25
新聞を読んでいますか



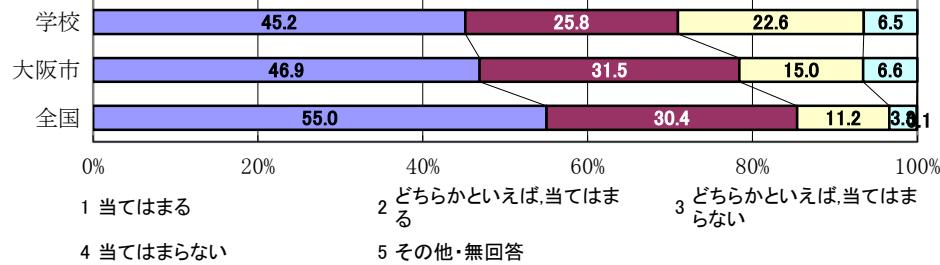
28
算数の勉強は大切だと思いますか



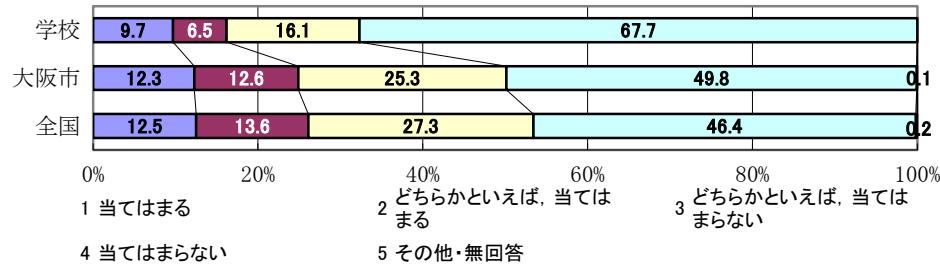
29
算数の授業の内容はよく分かりますか



39
理科の勉強は大切だと思いますか



44
将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか



学校質問紙より

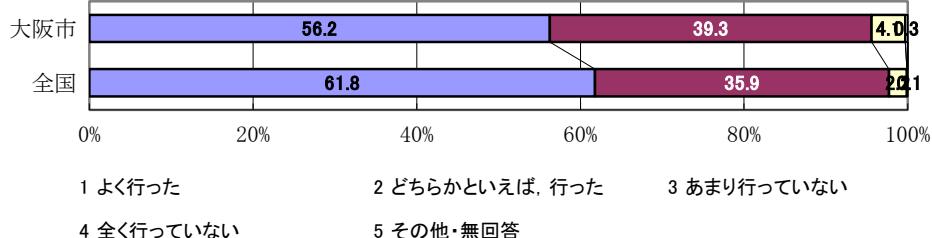
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

25

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底しましたか

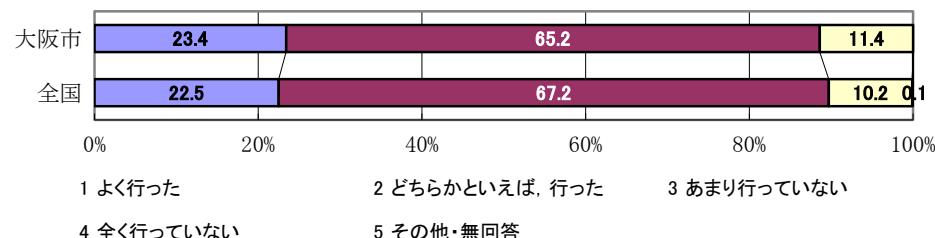
学校 「よく行った」を選択



26

調査対象学年の児童に対して、前年度に、各教科などで身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか

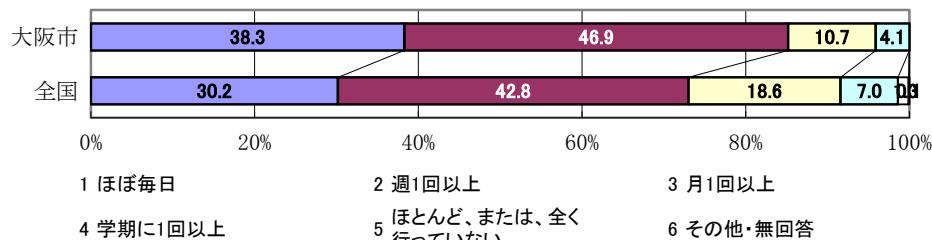
学校 「よく行った」を選択



28

調査対象学年の児童に対する指導において、前年度に、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板等)等のICTを活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

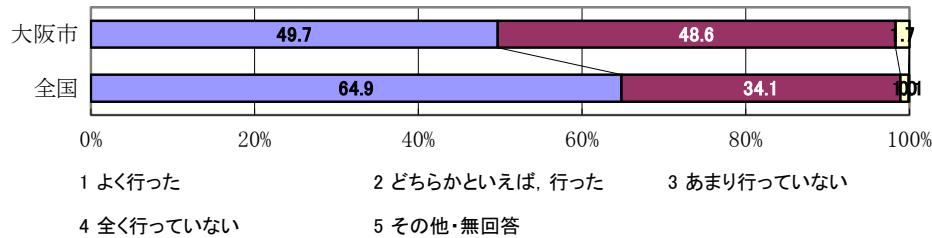
学校 「ほぼ毎日」を選択



30

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか

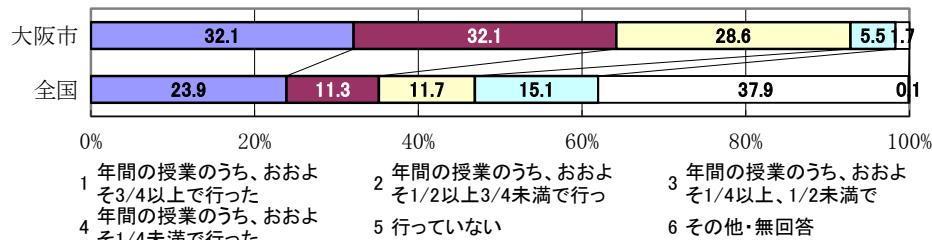
学校 「よく行った」を選択



35

調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか

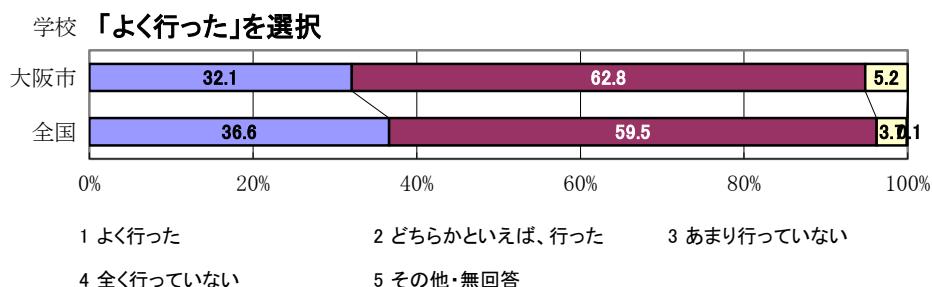
学校 「年間の授業のうち、おおよそ3/4以上で行った」を選択



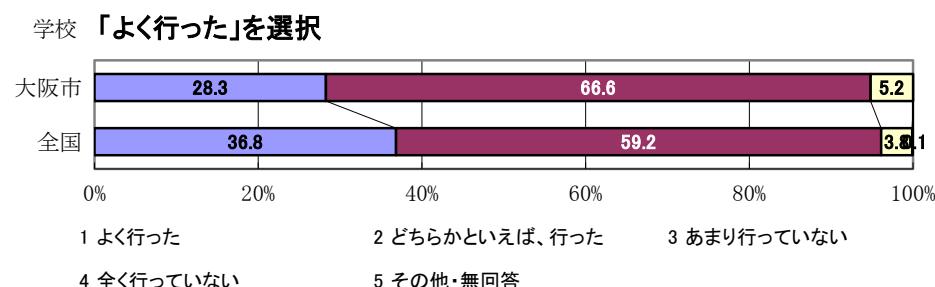
学校質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

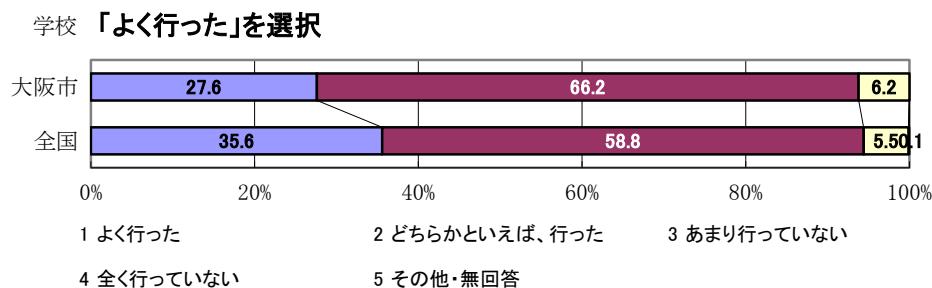
質問番号
質問事項
42
調査対象学年の児童に対する理科の授業において、前年度に、児童の好奇心や意欲が喚起されるよう、工夫していましたか



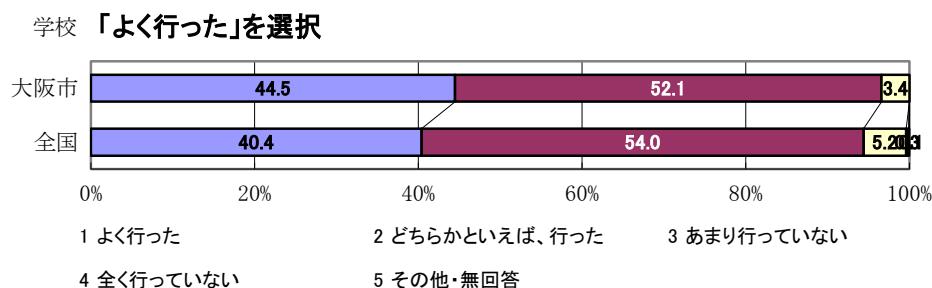
48
調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、観察や実験の結果を整理し考察する指導を行いましたか



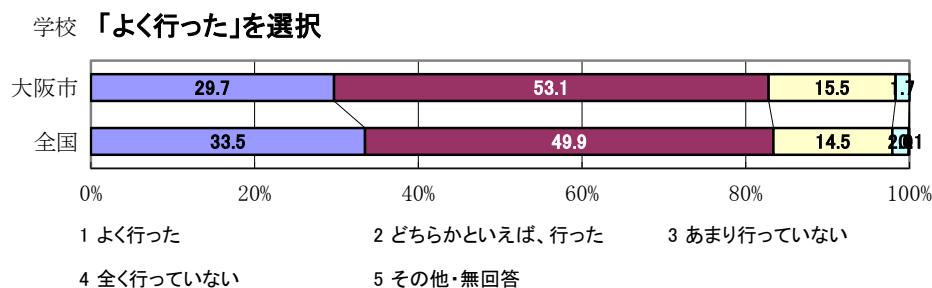
49
調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、観察や実験におけるカードやノートへの記録・記述の方法に関する指導を行いましたか



52
学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童に対する授業の中で、児童の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行いましたか



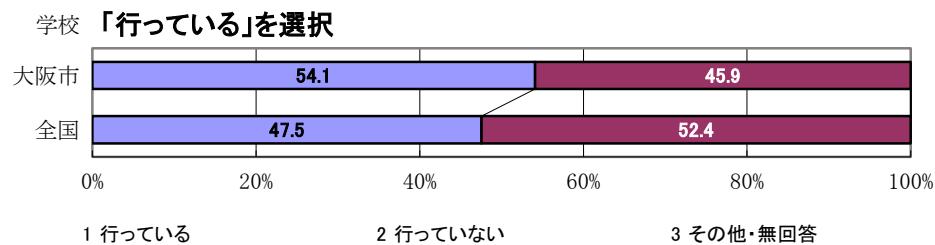
53
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか



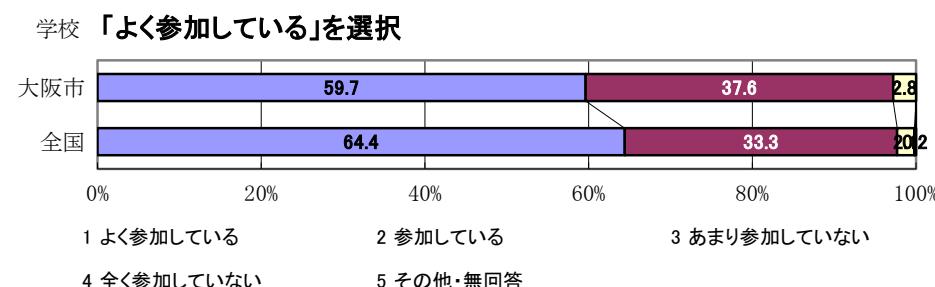
学校質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

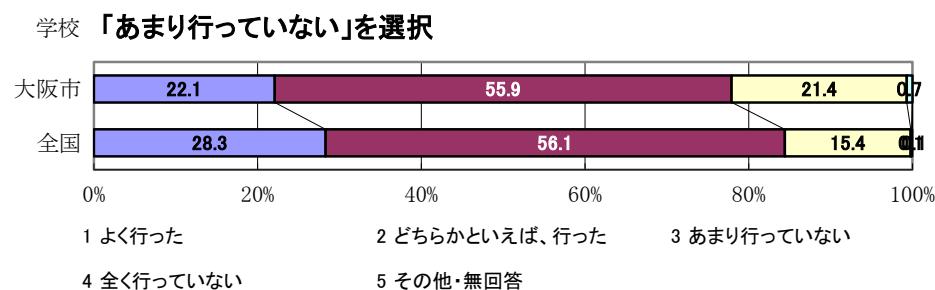
質問番号
質問事項
59
職場見学や職場体験活動を行っていますか



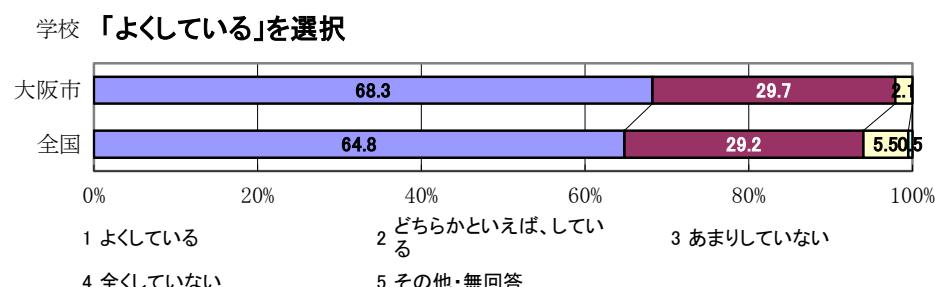
60
保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか



65
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか(国語／算数共通)



73
学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか



78
教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか

